

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

## 記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	38
研究の名称	日本 IVR 学会における症例登録データベース事業
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026年12月31日
研究の対象	<p>当院で、日本インターベンショナルラジオロジー学会（以下「IVR 学会」という）会員が実施したインターベンショナルラジオロジー（以下「IVR」という）の手技が行われた全症例を対象とします。</p> <p>IVR：画像下治療（X線（レントゲン）やCT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながら、細い医療器具（カテーテルや針）を入れて、標的となる病気の治療を行うこと）</p>
研究の目的	<p>低侵襲の治療としてその評価は高く、とくに患者さんの生活の質の維持、入院期間の短縮など医療経済にも寄与していると考えられていますが、その実態を十分に把握できていないのが現状です。このため、IVR 学会主導で、IVR の症例情報を集計・登録し、我が国における IVR 診療の現状を明らかにし、会員個人、修練施設における登録を分析して、IVR 専門医の育成、修練施設の増加など、今後の IVR 診療の進歩・普及を図ることに役立てていくことを計画しています。このデータは、統計的な考察を加えて適時公開する計画であり、IVR 診療の基礎と臨床の多くの研究に貢献すると考えられます。IVR の症例情報を集計・登録することにより、我が国における IVR 診療の現状を明らかにすることを目的としています。さらに、会員個人、修練施設における登録を分析して、IVR 専門医の育成、修練施設の増加など、今後の IVR 診療の進歩・普及を図ることを目的とします。</p>
研究の方法	IVR を受けた症例に関する情報をインターネット経由で IVR 学会症例登録データベースに登録します。
研究に用いる試料・情報の種類	<p>試料：該当なし</p> <p>情報：カルテ番号、年齢、性別、術式 など</p>
外部（他の研究機関）	提供先の機関名称：日本 IVR 学会

への試料・情報の提供	<p>提供先の研究責任者名：山門 享一郎 (IVR 学会理事長)</p> <p>提供方法：施設内 ID から暗号的ハッシュ関数を用いて匿名化した管理 ID を生成し、データベースに登録します。サーバーとの通信は SSL を用いて保護します。</p>
個人情報の取扱い	<p>患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究組織	<p>IVR 専門医修練認定施設 329 施設</p> <p>日本 IVR 学会公式ホームページ <a href="http://www.jsir.or.jp/">http://www.jsir.or.jp/</a></p>
お問い合わせ先	<p>&lt;当院の連絡先&gt;</p> <p>地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター</p> <p>所属：放射線診断科</p> <p>研究責任者：中村 純寿</p> <p>住所：大阪府堺市西区家原寺町 1 丁 1 番 1 号</p> <p>TEL：072-272-1199(代表)</p> <hr/> <p>&lt;研究代表者&gt;</p> <p>日本 IVR 学会 理事長 山門 享一郎</p>

作成日：西暦 2022 年 3 月 11 日 ( 2 版)